

# 3月号パラパニュース

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2-4F

電話：03-6229-5423、FAX：03-6229-5420

メール：jppf.jimu@gmail.com

ホームページ：<http://jppf.jp/>

## ■マンチェスターワールドカップ

2020年2月20-23日、イギリスのマンチェスターで、ワールドカップが開催された。日本選手にとっては、このマンチェスターと、あと、4月のドバイ、この2チャンスで、東京パラ代表を射止めるという大事な試合。

ヘッドコーチ、ジョンエイモス氏（写真右）は、まずは、入念に器具の点検。岡本コーチと共に、日本選手にフィードバックする。

**女子50kg級； 中嶋明子選手**

60kgで軽くスタートするが、胸でバーが、バウンス、失格となってしまった。（写真右下、ジョンコーチと赤の理由を探る）

**女子55kg級； 山本恵理選手**

61kgのスタートは軽くとり、65kgのパラ標準突破が期待されたが、





二本目三本目と失敗。パラ標準突破は4月のドバイ大会に持ち越された。

## 女子79kg級； 坂元智香

既に73kg級では、パラ標準を突破し、79kg級にエントリーして、パラリンピックに選考されるチャンスを増やそうと、階級を上げてのエントリー。遠征の疲れがでたか、体調不良で、記録は、73kgにとどまった。77kgを目指していたが、こちらは、ドバイ大会にお預け。

## 男子49kg級； 西崎哲男

日本チーム待望のメダル。西崎選手133kgを上げ、宿敵(?)ラオスのピア選手を抜き、パラリンピックランキングを上げる。

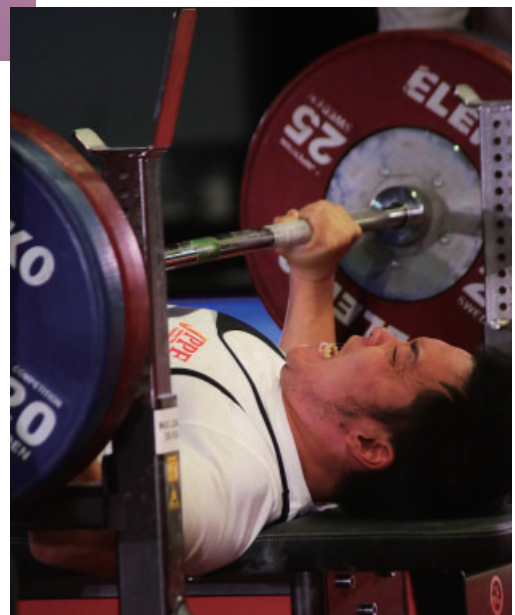
## 男子49kg級； 加藤尊士

一つでもランキングを上げるべく、果敢に記録に挑戦。一本目119kgを取った後、自己ベストの123kgに挑むが失敗。記録は、119kgにとどまった。



銅メダルを獲得した西崎選手。記録は、もう少し欲しかったが、ワールドカップのメダルは貴重。

日本選手ナンバー2を目指したが、惜しくも、自己ベストはならなかった。リオ5位の三浦選手の記録に果敢に挑んだ加藤選手。







男子54kg級；

市川満典

力はあるのだが、技術で赤判定。  
国際舞台で羽ばたくには、技術力  
をつけることが一番、技術さえ身に  
着けばパラリンピックは、向こうから  
やってくる。

138 kgを押すも赤判定で、失格

男子59kg級； 戸田雄也

練習の成果がそのまま試合に出る。厳しい判定の中、133,137,140 kg全部成功させ、5 位入賞。140 kgは日本新記録。



男子59kg級； 光瀬智洋

光瀬選手も、いい練習のできている一人。130 kg、135 kgと白判定、三本目は、戸田選手を抜こうと 140 kgに挑戦。補助員が挙上途中でバーベルを触ってしまい、赤安定。とても残念。結果は 135 kgで戸田選手に続いて 6 位入賞





## 男子 65kg 級； 奥山一輝

全日本で日本新記録をマークした奥山選手。更に記録を上げようとマンチェスターに臨んだ。

135,140 と、技術的にも問題なく決めて、日本記録 143 kg に挑んだが、こちらは、惜しくも失敗。更なる記録向上で東京パラに食い込んでもらいたい。記録は 140 kg で 4 位。

## 男子 65kg 級； 城隆志

全日本で好調であったので、今回も更なる伸びが期待されたが、全日本後の練習で、肩を故障してしまったらしく、115 kg を第一で取った後、120 kg は二度とも失敗し、6 位となった。



## 男子 72kg 級； 樋口健太郎

全日本を欠場し、満を持して臨んだワールドカップ。スタートは予想外の 155 kg。さすがにこの重量は完璧で取る。続いて、164 kg はバランスを壊して、シャフトを首に落とす。怪我はなく一安心。三本目は 169 kg の三位狙いだったが、上がらず、失敗。実力は 180 kg 前後の力だと思われるが、ここに来て、調子が崩れている。ドバイまで 7 週間、復活を願いたい。





## 男子 80kg 級； 宇城元

力は着実に付いている、それを試合で披露出来るのは技術力。一本目は 167 kg をしっかりとリ、二本目は 177 kg。少しでも東京パラランキングを上げたいところだ。決して重くなく、バーベルだけ見ていると、白判定なのだが、体が揺れて、ボディシークエンスを取られて、赤判定。続く 178 kg も同じく軽いが赤判定、最後のドバイワールドカップまでに、何とか、このボディシークエンスを克服してもらいたい。

## 男子 88kg 級； 大堂秀樹

全日本で大胸筋に違和感。心配であったが、スタートの 180 kg は余裕。さすがに何度もパラリンピックに出ているだけあって、技術力は、満点。自己ベストを取って、東京パラランキングを上げたいところであったが、第二試技の 190 kg で大胸筋に違和感。第三試技はパスしたが、堂々 2 位、銀メダルに輝く。

